

# オガサワラカワラヒワ JAZAにおける域外保全目標設定 現状と課題

JAZA生物多様性委員会  
小型鳥類作業部会類別事業調整者  
高橋 幸裕

# オガサワラカワラヒワ検討会での域外保全開始前協議

**目的：オガサワラカワラヒワの域外保全の目標設定、課題整理**

**方法：事前に資料を共有し、webアンケートにて集計**

- ・ アンケート期間：2024年12月10日-17日（8日間）
- ・ 対象と方式：検討会参加者に回答を依頼し、方式は匿名

**検討会での協議（2024年12月20日開催）**

- ・ 参加者間でアンケート集計結果を共有し協議
- ・ 域外保全目標設定、想定される課題抽出

## 域外保全の目標設定 短期、中期、最終（協議結果）

### 短期目標：オガサワラカワラヒワを用いた飼育繁殖技術開発

- ・カワラヒワの飼育繁殖方法の応用が可能か確認
- ・飼育繁殖技術の知見の集積、ガイドラインの作成

### 中期目標：生息域外保全個体群形成

- ・遺伝的多様性を保持した域外保全個体群の形成
- ・個体群の危険分散を目的に複数の園館で飼育

### 最終目標：保険個体群の維持、域内への補強へ

- ・域外保全個体群を保険個体群として維持
- ・野生復帰に資する個体群の確保、域内への補強に対応

# 動物園における飼育開始から補強までに想定される課題

## ヘビやネズミの食害から守る

- ・ヘビ(アオダイショウ)や、ネズミ侵入がない施設
- ・適正施設ガイドライン内で対策を明記

## 細菌や寄生虫などの感染症から守る

- ・飼育繁殖施設の衛生管理基準の検討
- ・動物園搬入時や小笠原へ戻す場合の検疫内容について

## 分散飼育施設の基準

- ・分散飼育施設は、ペアでの飼育、繁殖の有無など
- ・飼育繁殖施設は一般へ公開、非公開施設などの基準制定

# 域外保全実施状況及び課題

## 内地での域外保全状況

- ・ 2024年10月 上野、井の頭で確認申請完了
- ・ 2025年 3月 上野で雌雄各1羽の飼育を開始(6月繁殖)

## 域外保全飼育繁殖羽数の設定 (域外保全全体で20ペア40羽)

- ・ JAZA内の飼育繁殖施設 (2ペア4羽)
- ・ 域外保全飼育羽数達成のためには、新た飼育繁殖施設確保

## オガサワラカワラヒワの飼育開始における課題

- ・ 環境省とJAZAとの包括協定種ではない
- ・ 協定種でないオガサワラカワラヒワの分散飼育は困難